

第1回侍杯 兼 全日本少年野球大会福知山予選会【中体連枠】 実施要項

- 1 主催 プロショップ侍
- 2 協賛 ナガセケンコー株式会社
- 3 審判協力 福知山市野球協会
- 4 日時 平成24年11月4日(日)・11日(日) 予備日12月8日(土)
試合開始 9時
- 5 会場 4日(日) … 日新中学校グラウンド
川口中学校グラウンド
11日(日) … 桃映中学校グラウンド

6 参加資格

- (1) 福知山市中学校体育連盟加盟校の2年生・1年生で構成されたチームとする。参加生徒の引率・監督は出場校の校長教員とする。ただし、コーチが必要な場合は校長が認めたもの1名とし、所定の用紙を用いて届ける。
- (2) 硬式ボール及びK-Ballを使用している団体に登録又は大会に参加している者の参加は認めない。
- (3) クラブチームとして近畿少年秋季軟式野球京都大会の予選会に参加するものは、二重登録となるため「中体連枠」での参加は認めない。

- 7 参加校 福知山市内中学校

8 大会規定

- (1) 試合規則は2012年度日本公認野球規則と大会規定及びグラウンドルールを適用する。
- (2) 試合方法は参加校のフリー抽選によるトーナメント方式とする。
- (3) 選手10名以上20名以内でチームを構成し、全員に背番号を付ける。(背番号は、監督は30番、主将は10番、選手は0番から27番までの数字であることとする。)
- (4) ベンチには、当該校の監督・部長・選手・スコアラー以外は入らないものとする。コーチ登録を行った場合のみコーチ1名のベンチ入りを認める。
- (5) 試合開始時刻45分前には会場に到着の上、本部にメンバー表4通を提出し、役員立ち会いのもと、先攻・後攻を決める。
- (6) グラウンド内でのバッティング練習は禁止する。
- (7) 試合前のシートノックは、7分以内とする。(ただし、進行状況等により行わない場合がある。)
- (8) 本体会の試合回数は7回(1時間25分以降新しいイニングには入らない)とする。7回終了または時間打ち切りで勝敗の決しない場合は、以下の要領で特別延長戦を行う。
 - ①無死満塁で継続打順より始める。走者は、前イニングの最終打者が1塁につき、前々打者が2塁、前々々打者が3塁につき走者となる。
 - ②1イニングで勝敗が決しない場合は、以後継続打順でこれを繰り返す。

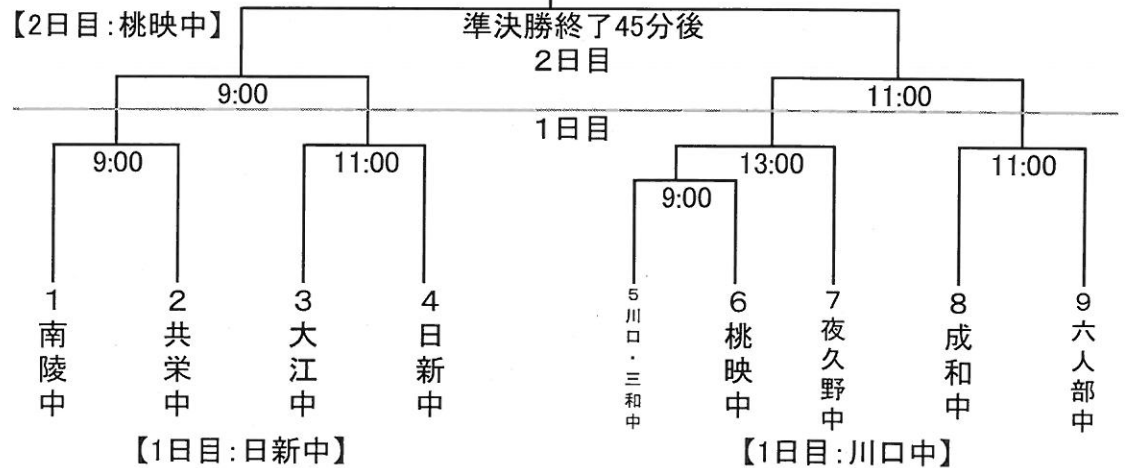
- (9) 以下のような場合は、コールドゲームとする。
 - ①5回を終了して7点差がついたとき。(決勝戦は除く)
 - ②5回を終了して雨天等試合続行が不可能であると判断されるとき。
- (10) 試合中の疑義については、ルール上の件に限り、監督又は主将又より申し出る。
- (11) 選手はスパイクを履き、打者・走者・ベースコーチはヘルメットを着用する。
- (12) 捕手は、ヘルメット・プロテクター・レガースを着用する。また、ブルペンやイニング間の投球練習の場合も、着用することが望ましい。
- (13) 試合球は連盟公認球「ケンコーボールB号」とする。
- (14) ハイカットストッキングや裾を極端に絞ったユニフォームは認めない。また、バッティンググローブ(白色又は黒色)は認めるが、リストバンド等は使用しない。
- (15) 中学生らしい態度で臨み、悪質な野次は慎む。
- (16) 試合中にトラブルが起きて試合続行が不可能な場合は、大会本部の決定に従わない方を敗者として没収試合とすることがある。
- (17) 中学校のグラウンドを使用する場合は、ハードルを設置する場合がある。
- (18) 試合のスピードアップ化に努める。

9 申し込み

10月9日(火)までに電話にて申し込むこと。

大会事務局
福知山市立日新中学校 久古 拓也

- 10 組み合わせ 参加校のフリー抽選によるトーナメント方式とする。



※川口中学校と三和中学校は合同チームとして出場する。

- 11 表彰 本大会優勝校には賞状と優勝杯・準優勝校には賞状を授与する。また、優勝校は翌年3月に行われる全日本少年軟式野球京都府大会の出場権を得ることとする。(開会式は行わず、決勝進出の2校による閉会式のみ行う。)